江府町報

第212号

発行者
鳥取県江府町
電話江尾(代)75—2211
編集　総務課
印刷　(有)冨士印刷

＊雄大な自然のなかで行われる刈り払い作業

江府町の人口

（11月30日現在）

世帯数	1,231	世帯
人口	4,811	人
前月比	6	
（男）	7	
（女）	－1	
出生	8	
（男）	6	
（女）	2	
転入	12	
（男）	5	
（女）	7	
転出	13	
（男）	4	
（女）	9	
死亡	1	
（男）	0	
（女）	1	

シーズンを前に すすきの刈り払い

積雪の時期を迎えて奥大山スキー場のゲレンデ整備のためすすきの刈払い作業が、十一月十四日、十六日の二日間で行われました。

十一ヘクタールにもおよぶ草原の刈り払い作業は、御机地区から四十人が参加し、草刈り機を使用してもまる二日かかり、なかなか壮大で江府町には欠くことのできない晩秋の風物詩でもあります。

リフトの取りつけも終り、スキー場の整備も万端ととのいました。四季折々に彩りをかえる奥大山の自然は、やがて白一色に姿をかえ三月の雪どけまでカラフルなスキーウェアーの若者たちでにぎわいます。

奥大山チロルの里構想まとまる

江府町では鳥取県の提唱している「ジゲおこし」事業に呼応し地域活性化ビジョン「奥大山チロルの里」構想をまとめました。これは通産省が100万kw以上の発電所をもつ市町村を対象に行なっている電源地域産業育成支援事業の一環として実施している「地域活性化ビジョン作成事業」（昭和61年度分全国30ケ所）を導入して策定したものです。

中国横断自動車道の開通や俣野川ダム湖周辺整備などをベースに豊かな自然条件を生かした地場産業の振興を基調としたもので、10年後の江府町を目指しています。

キャッチフレーズも急激な社会環境の変化のなかで国際的な視野にたって、気候・風土の似通ったオーストリアチロル地方のイメージから「奥大山チロルの里」とつけられました。

町長日誌

＊10月

1日(木) 県町村会総会、教育委員辞令交付

2日(金) 在　勤、御机地区役員、農林省農政部長来庁

3日(土) 少年剣道練成大会

4日(日) 結婚式出席

5日(月) 日野地方農林振興協議会委員会、池の内地区役員・中国へき地教育研究会会長来庁

6日(火) 西部戸籍協議会開講式
東京出張（町長法務大臣表彰）

8日(木) 中国へき地教育研究会、俣野川発電所二号機運転開始

9日(金) 中国へき地教育研究会、農林省大山山ろく開拓事務所長、次長来庁

10日(土) 在　勤

11日(日) 解放同盟団結ソフトボール大会

12日(月) 西部町村会、保育園現地協議、日　農林振興局耕地課長補佐

13日(火) 中国電力㈱副社長来庁、西部広域正副管理者会、県スキー連盟代表・俣野大区役員来庁

14日(水) 消防ポンプ自動車配備式、名和町農業者トレーニングセンター落成式、日野農林振興局振興課長来庁

15日(木) 大分県出張（日野町江府町日南町衛生施設組合視察研修）
16日(金)

17日(土) 在　勤

18日(日) 町健康マラソン大会

19日(月) 福島県出張（全国自然休養村現地研究会）

22日(木) 東京出張（まちとむらの交流大会、発電関係市町村全国協議会、大蔵省陳情）
27日(火)

28日(水) 災害検討会議、御机・笠良原水道協議、米金井手理事・農林省大山山ろく開拓事務所長・次長来庁、町内弔問

29日(木) 中国電力㈱交通防犯協力会解散式、御机笠良原水道協議、町理髪業組合役員・日野農林振興局林業課

＊自然に活きる

江府町長
井上健治

農業構造改善事業というと、その発足に当たり、地域類型や経営類型の上で展示的な拠点としてか、試作先行としてか、わが町がパイロット地区の指定と計画認定を受けた、あの当時の感動を今でも思い起こすのである。

その地区指定は昭和三十六年度であり、全国で九十一地区、計画認定は昭和三十七年度であり全国で七十六地区であった。

このパイロット地区各々の基幹作目についてみれば、当然のことながら米が主であり果樹ではみかんが多く十六地区、畜産では乳牛、豚、鶏など経営規模の拡大と主産地形成をめざして計画されていた。

ただ肉牛は、六地区で、米や養蚕との複合型三地区、肥育方式一地区、繁殖経営の肉牛単一作目は二地区であった。それは中国山地のしかも県境の峠を越えて背中合せの隣り組の二地区であった。即ち鳥取県のわが江府町と、いま一つは岡山県真庭郡新庄村である。両町村は山国の宿命を負うた林野率も八十五～九十一パーセントの土地柄で、標高二〇〇メートルから一〇〇〇メートルに及ぶ自然条件が期せずして両地区の作目を肉牛と決めたのである。

さて、自然休養村整備事業であるが、農業構造改善施策の一環として昭和四十六年に発足し、緑の村事業、自然活用型事業と続いて今日に至っている。構造改善施策の一環としての自然休養村事業は、まずは農山漁村自らの特性を活かすところから着実を旨として進まなくてはならない。そして農業事情と不離同体をなし、現代の経済社会と国民生活の希求に応える老舗の責任を果たさなくてはならないと思っている。

われわれパイロット肉牛隣り組の二町村には、中国電力株式会社の揚水式発電所が昨年十月建設され、湛水ダム下池及び地下発電所は江府町、上池ダムは新庄村に完成。落差五〇〇メートル、出力一二〇万キロワットで両地区は結ばれ、国内最大級の水力発電施設と、山岳高原の自然の中に湖と牧野が点在する観光ルートを形成している。これも放牧肉牛の作目しかない山国の、岩走る渓流と近代科学の合作に成る主産地形成であり、ここにもパイロット隣り組の自然は活きている。

これは、全国農業構造改善協会の機関誌「農業構造改善」の巻頭に掲載された全国自然休養村協議会会長井上町長の随想を紹介したものです。

長来庁

30日(金) 下蚊屋大根組合収穫祭、市町村管理者研修会

31日(土) 日野振興協議会、警友会総会

＊11月

1日(日) 農協青年部収穫祭、町PTAバレー大会

2日(月) 西ノ島町制三十周年記念式

4日(水) 在　勤、中国電力(株)鳥取支店長・大河原地区役員・青年団役員来庁

5日(木) 町高齢者スポーツ大会

6日(金) 中山町町制三十周年記念式、県町村会事務局職員・中国電力(株)役員来庁

7日(土) 助沢神社橋渡り初め式

8日(日) 町民バレーボール大会

9日(月) 日野地方農林振興協議会会長会議

10日(火) 町慰霊祭、西部町村会

11日(水)～13日(金) 東京出張（治山林道促進大会、日本林道協会総会）

14日(土) 南山会

15日(日) 観光部会

16日(月) 在　勤、中国電力(株)次長・池の内地区役員来庁

17日(火) 在　勤、大山山ろく開拓事務所長・西成地区役員来庁

20日(金) 東京出張（全国道路利用者会議理事会及び陳情、民生委員会研修）

21日(土) 神奈川財産区会

22日(日) 第二十六回新町一丁目そ菜品評会

23日(月)～27日(金) 東京出張（全国過疎地域振興連盟総会、全国町村長大会、全国山村振興連盟臨時総会、森林組合研修）

28日(土) 在　勤、溝口地区交通安全協会表彰式、西部広域行政管理組合正副管理者会議

29日(日) NHK630江府ふれあい広場

30日(月) 鳥取県道路整備促進総決起大会

農林業における課題とビジョン

本町では米を基幹作物としながら、高冷地野菜の夏大根を中心にホーレン草・ネギ・ワサビ・しいたけ等を栽培していますが、近年夏大根については連作障害が顕著となり、品質の低下、生産量の低下をきたし、生産農家にとって大きな打撃となっています。

又、伝統的な因伯牛の育成は子牛の価格の低迷にあえぎ、放牧による省力飼育技術の確立が急がれます。

こうした現状をふまえて観光とドッキングできる足腰の強い農業を展開させるため、次のとおり計画されています。

①中核農家の育成

基盤整備事業等を積極的に推進し、生産性の向上とコストの低減をはかりながら、中核農家への農地の集積を促進するため、農地の貸し借りに加え、農作業の受委託も推進する。

②農業ゾーンの設定(別表)

農産物の作付計画を標高により
低産地(一五〇〜三〇〇m)
中産地(三〇〇〜五〇〇m)
高産地(五〇〇m以上)
の三ゾーンに分け、その地域にふさわしい作物を定着させる。

③林業の振興

(1)林道整備と作業道の建設
(2)椎茸生産ともぎとり園
(3)わさび栽培と加工販売
(4)間伐材の商品化と販売
(5)丸太材の生産販売
(6)スポーツ・レクリエーション施設の建設
(7)広葉樹植林の推進
(8)林間作物の栽培(薬草)
(9)花木栽培と販売

④水産

町内を流れる豊富な水資源を利用した溪流魚の振興
(1)養殖技術の導入と施設整備
(2)釣り堀経営
(3)調理・加工・販売の諸事業を展開する。

▲高冷地に広がる大根畑

ゾーン	計画
高産地 (500m以上)	●夏大根の生産指定地を保持しながらブロッコリーを伸ばしてゆく ８年後の作付 大根 30ha ブロッコリー 60ha その他 6ha ●観光農園
中産地 (300〜500m)	●水田農業確立対策による作目の選定 ８年後の作付 ネギ 50ha 大豆 5ha その他 3ha ●ハウス利用型作付計画 ホウレン草 トマト メロン カイワレ大根 クレソン イチゴ 果樹 ●観光農園 掘り取り園 ●観光果樹園 栗・リンゴ
低産地 (150〜300m)	●農地の利用増進(貸借等)と集積 ８年後の作付 ネギ 5ha ●ハウス利用型作付計画 中産地ゾーンと同じ

このビジョン作成のためにお世話になった方々

◆検討会●委員長鳥取大学教授道上正規●委員県企画部長山根康雄●同衛生環境部長堺宣道●同農林水産部長北浦 勉●同土木部長石黒光照●同商工労働部長三木 公●農協組合長影山一亮●森林組合専務宮本知衛●商工会長白石秀之●農業後継者伊達教行 堀田典子●国民休暇村支配人伊達信夫●日ノ丸自動車米子支店長高木 勇●日本交通公社米子支店長前田煦典●西日本建設コンサルタント村岡鹿次●議会議長浜本 博●町長井上健治

◆幹事会●県地方課長横地 繁●同企画課長清水隆博●同自然保護課長西村善博●同通商観光課長大谷勝己●同企業立地課長福島猛夫●同農政課長加賀田 隆●同農地経済課長居吹直文●同農業改良課長西向幸雄●同農蚕園芸課長川口嘉美●同畜産課長 丹松久夫●同耕地課長河本義永●同農村整備課長嶋田 誠●同林務課長岡村哲而●同造林課長森脇源八郎●同道路課長田中宏明●同都市計画課長矢野信也●助役森谷博昭

◆調査員●県企画員前田八寿彦●県担当者馬田浩一●日野地方農林振興局企画主幹吉田幸三●日野農業改良普及員中村修●農協職員 筒井章年 土居一幸 長尾 保●森林組合職員森田 稔●商工会職員入江正太郎●同観光部岡本昭一●助役森谷博昭●役場藤原 要 河上英明 藤原昭仁 末次雅雄 森 正幸 竹内敏朗 矢下慎二 本高善久 宮本正啓 岡田雄成●同嘱託岡田良一●西日本建設コンサルタント村岡鹿次

◆特別調査員●清水千城●浜本伸介●宮本浅男●川上和人●木山洋志●三輪 勝●末次富二夫●末次照夫(敬称略)

観光における課題とビジョン

国民宿舎、国民休暇村を中心施設とし自然休養村事業、都市と村の交流事業（神戸市）、姉妹町との交流事業（西ノ島町）を導入し観光開発に力を注いでいますが、昭和五十九年度に完成した俣野川ダム湖周辺が新しい観光資源として期待できることになったことと、俣野川発電所の建設工事が一段落し労働者が町を去った現在商工関係者、旅館等の先行不安感も大きいところから、民間活力の導入と育成を基調とした観光開発計画を策定しました。（別表）

又、観光地には欠くことのできない特産品土産品についても山菜加工品・木工加工品等をはじめ従来から地域で重宝がられてきた食品の商品化も計画されています。

「奥大山チロルの里」
〝自然が詩う里づくり〟

- チロルの里づくりの若いリーダー定着。
  - 子供から老人までいろいろの分野を引っ張っていくリーダーが中心になり、チロルの里づくりをする。小・中・高校生も参加していく。
- 町のみんなで知恵をしぼる。
  - 町の一人一人の知恵を出し合い、チロルの里をつくっていく。構想をもっとよいものにしていく。
- いろんな地方、国の人々と交流する。
  - 町内の人々、隣町の人々、そして都市の人々、チロルの人々とスポーツ文化そして人の交流をしていく。

ゾーン名	整備計画	イベント計画等
大山環状道路ゾーン	●サイン系統の整備 ●駐車場・公衆便所等の便益施設の整備 ●豊かな水を利用したウォーターベルト計画 ●山岳地を利用した自然博物館の整備 ●間伐材利用のバンガロー村等の整備 ●甘酒茶屋等現況施設のリフレッシュ計画 ●農産物直売ルートの確立と充実 ●将山への遊歩道、展望台の整備 ●既存民宿等の活性化 ●笛吹山への遊歩道・展望台の整備 ●森林浴コースの整備　●哲学の道整備	●新しい商品（特産品・土産品）の開発と販売 ●スキーシーズンにおけるオーストリアスキーカーニバルの開催と観光入り込み客の確保 ●奥大山パノラマツアー
青少年レクリエーションゾーン	●オートキャンプ場の設置 ●オリエンテーリングなどのコース設置 ●バードウォッチング施設の整備	●高原コンサート、野外音楽祭の企画 ●アルペンホルン演奏会
江尾駅周辺文化ゾーン	●江府町の表玄関としての景観づくり（コミュニティ道路等） ●歴史民俗資料館及びその周辺整備 ●観光案内所、駐車場、レストラン、サイン施設、便益施設の整備 ●花や水施設による駅前のイメージアップ ●駅舎の多機能整備 ●傾斜を生かしての町並整備 ●スポーツと文化拠点の整備（音楽ホール、図書館、美術館）	●商工会・旅館によるイベントとメニュー、ネーミングの系統化 ●オーストリア、神戸等との文化交流企画 ●近代的な既設体育施設を利用した各種スポーツ大会や社会人大学に開放した合宿の受入れ ●隣町村とのタイアップを目的とした組織づくり ●チロル地方の都市との姉妹縁組 ●特急電車の臨時季節江尾駅停車
俣野川ダム周辺スポーツレクリエーションゾーン	●大規模駐車場 ●芝生広場、野外コンサート場、子供の広場等を中心とした公園施設 ●町内、サージタンク展望、周遊バスの運転 ●サージタンク周辺の展望台整備 ●毛無山、白馬山への自然遊歩道整備 ●新庄村へ通じる林道整備 ●湖岸道路の花園化 ●高谷渓谷の整備	●俣野川揚水発電所及び下池ダム周辺の見学コースの設定
自然及び地域社会探求ゾーン	●熊野神社からかまこしき渓谷を経て明神の桜へ至る自然遊歩道の整備 ●かまこしき渓谷の整備と保護 ●サイン系統や便益施設の整備 ●三平台付近の果樹園整備 ●笠良原東山瓜菜沢の観光牧場整備 緬羊　山羊　和牛など ●高原観光農園の整備	●国際交流フェアー ●朝市の開設

奥大山
チロルの里
江府町

キャラクターマーク

(主に観光面に使用)

興味や魅力を感じる町づくりを

日野尾佐保さん(武庫 22歳)

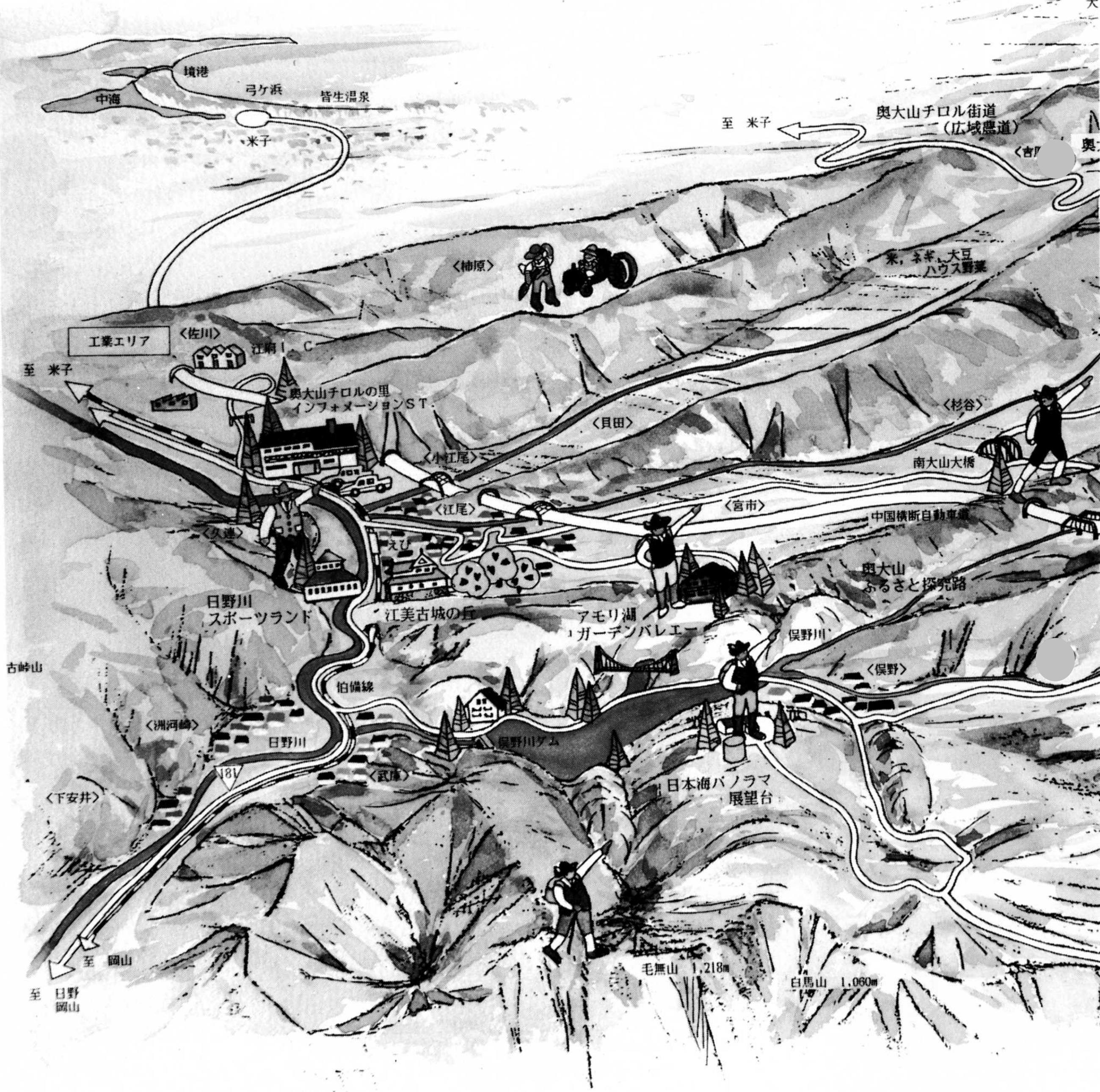
私は京都の専門学校を卒業後、地元の農協に勤務しています。江府町に帰って来て、率直に感じたことは、若い同世代の人が少なく、古い慣習やしきたりに縛られて、暮しにくく思い、帰ってきたことに後悔さえしました。

この町に何を望み、どのようにすれば暮らしやすくなるのかと問われたら？　私が考えるには、町民皆がこの町に興味や魅力を感じる町づくりだと思います。型式ばった研修や文章ではなく、一人一人が自分の目で見て、肌で感じ行動するように町が積極的にとりくんでいってほしいものです。若い人がこの町に残り暮らしていけるように働く場所を増やしたり、働く女性が多い中でそれに伴う施設の配慮が望まれます。そのためには私たち若い人がしっかりした目を持ち、そして次の時代に生まれてくる子供たちが、この江府町に誇りをもち暮らしていけるようにしたいものです。

奥大山チロルの里構想図

奥大山チロルの里構想をイラストで紹介します。本町をとりまく1,000メートル級の峰々の開発に熱い期待がかけられているのがわかります。

また、中国横断自動車道の開通で江府インターチェンジ周辺が新しい江府町の玄関口として変貌を遂げるようすも描かれています。



商工業対策について

鳥取県西部地域において画期的な産業の振興と住民生活の領域の拡大をもたらすことが期待される中国横断自動車道（写真は江府インターチェンジ完成予想図）

◆工業　本町の工業は大型のものはなく砕石業、レミコン、ブロック工場、建設業、縫製工場等の中小企業である。従業者数四人以上の事業所数は昭和五十四年の十五ヶ所をピークに減少し、昭和六十年現在十一ヶ所である。

基本構想としては国県町の制度資金を強化し既存企業の健全化を図りながら、優良企業の誘致をしたいと考えています。

中国横断道の開通・豊富な水・電力・道路・労働力、など企業進出の直接諸条件はほぼ満足していますが、今後地元受入体制として

1工業用地の確保
2上水道工業用水の確保
3従業員住宅及び住宅用地の確保
4企業に対する優遇措置（税制等）の整備があげられています。

◆商業　町内消費の拡大を図りながら、消費者の立ち寄りやすい商業エリアの整備をし、新しい拠点としてモータリゼーションに対応した、国道県道沿いのドライブスルーストアを整備する計画です。

◆その他　過疎化の進行するなかで町の中心部においては逆に人口の増加が目立ち、更に核家族化も手伝って住宅及び宅地の恒常的な不足を呈している現状も考え、本ビジョンの推進にも欠くことのできない用地対策として土地開発公社の設立を急ぐこととしています。

あなたの集落の 活・性・化

地域活性化ビジョン「奥大山チロルの里」構想を実現させるためには行政サイドでの取組みのほか、町民一人一人が各集落単位に結集し自分達の足元をみつめなおし集落の活性化につなげていく試みが大切となります。

集落単位の計画立案を策定するため、ミニ協議会などの推進組織のサンプルを作ってみました。集落の活性化こそが町の活性化の基本です。今後の取り組みの参考にして下さい。

〈集落行動計画体系図〉

推進協議会 ミニ奥大山チロルの里

- 農林業
  - 農業振興ビジョン
  - 林業振興ビジョン
  - 土地利用
  - 人材育成
  - 共同作業
- 観光・商工
  - 観光ビジョン
  - 商工ビジョン
  - 土地利用
  - 人材育成
- 教育・文化スポーツ
  - 教育文化スポーツビジョン
  - 文化・行事の保存・発展
  - 人材育成
  - 施設維持管理
- 生活環境・福祉
  - 生活環境・福祉ビジョン
  - 環境・景観の美化
  - 施設維持管理
  - 共同作業

江府町の夢づくり

鳥取大学工学部土木工学科
教授 道上 正規

河川関係の仕事をしているため、全国を行脚する機会に恵まれてきたが、鳥取県だけは訪れる機会がなかった。十年前、俣野ダムの建設に関する影響評価に際して、井上町長とお会いし、不思議にもその半年後鳥取大学でお世話になることになった。京都から鳥取へ赴任するときは、一抹の淋しさが胸中をかすめたが、それを勇気づけていただいたのも町長さんであった。

それからずっと江府町については非常な関心を払ってきたが、俣野ダムの建設、江府町を流れる河川の改修、その他いろいろな江府町の話題が新聞紙上に現れるたびに、胸が高鳴る思いがした。

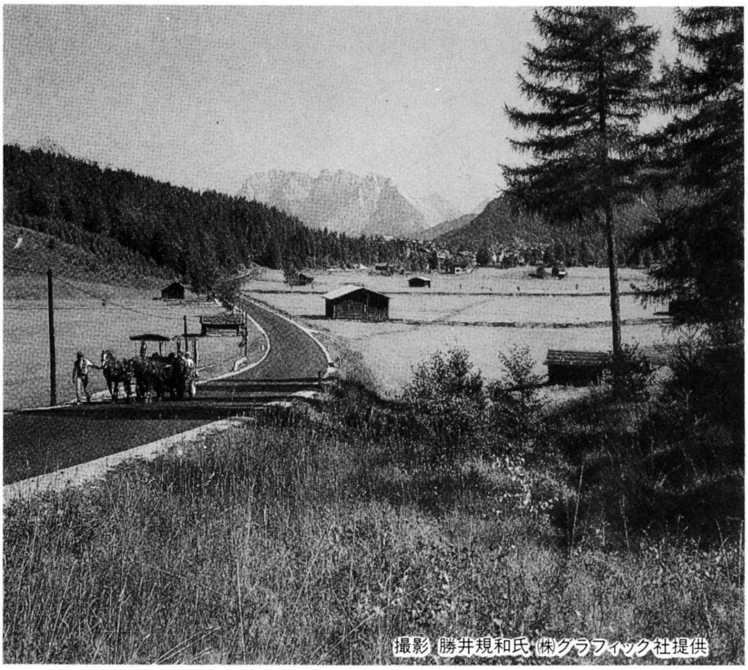
昨年は、町の人達と一緒になって、江府町の将来の夢づくりのお手伝いをする機会を得た。これは大変印象的な仕事であった。とくに、最終の委員会で、奥大山チロルの里の構想を説明していると、某女性委員がまるで恋をしている少女のような熱いまなざしで、うなずくのを見て、益々説明に熱が入った。これからの町づくりは、町民一人一人の熱意、とくに女性の熱い思いがなければ、成功はおぼつかないと思った。

この計画は、大山山麓の特色を生かして、高地、中地、低地に区分し、それぞれの地域の気候風土に応じた農林業、観光、工業、商業、文化・スポーツ等の活性化をはかり、子供達が夢を託して働ける町づくりを目ざしたものである。もちろん、旧来の手法を踏襲するだけでは、地域の活性化はおぼつかないので、新しい手法が必要になってくる。

それは都会の人に足を運んでもらえるような魅力的な町をつくることであろう。五千人の町民の動きだけでは、活性化につながらない。都会の人が一度は行ってみたいという希望をいだかせるような、本格的なレジャー施設、本格的なホテル、本格的な観光農業、本格的な観光牧場、本格的な町並み等に加え、町民一人ひとりの熱意と本格的なサービス精神をつくり上げることであろう。

山が美しい、川がきれい、空気がおいしいだけでは都会人は足を運ばない。この立派な自然環境を生かした本格的な施設―たとえ小さくとも―心温まる人情味―たとえ数は少なくとも―をつくり上げることだと確信している。この仕上り具合は、町民一人ひとりの熱意と協力度に対応し、大人達の生き生きした姿を見て、子供達はさらに大きな夢をふくらますのであろう。

(検討会委員長)



撮影 勝井規和氏 ㈱グラフィック社提供

オーストリア チロル地方って?

オーストリアでもっとも標高の高い地域を占めているチロル地方は、三千メートル級の山々、氷河・万年雪の世界からアルプスの牧草地、豊富な森林そして渓谷と変化に富んでいる。

こうした厳しい自然と地形は特殊な方言・服装・家屋・風俗・習慣を生み特有の文化を育てていった。そして造型芸術に鋭い感覚を持ったチロル人は独特の文化をつくりあげていったのである。

古い伝統の中にも失われることのなかった素朴な精神と文化は、今日の機械文明の世界から見れば、素晴しい手づくりの里なのである。

こうして人間のもっとも美しい面と自然の美しさがからみあい、融け合ってできたのがチロルである。私達が思い描く夢のようなアルプスの村チロルは確かに存在する。しかしそこには人間の生活があり、自然との厳しい闘いがあることも忘れてはならない。

(実業之日本社編ブルーガイド海外版スイス・オーストリア巻より)

地域活性化ビジョンの実現にむけて

Ａ４版五〇〇頁に及ぶ膨大な報告書のこの基本構想を実現させるために町では引き続き実施計画・行動計画・財政計画を策定することにしています。

特に具体的事業の展開にあたっては民間主導型を基調にしながら部門によっては公共資本も加えた第三セクター方式も検討されています。

又ビジョンの実現にむけて昭和六十二年度に人材養成事業昭和六十三年度に融資事業等を予定しています。

◆人材養成事業

長期研修（一ヶ月以上）

農産部門　高冷地野菜生産地

畜産部門　大規模畜産と観光放牧

林業部門　木工加工

◆短期研修（六～十日間）

農業部門　市場研修　野菜産地作り　ハウス経営　連作障害対策

林産部門　わさび栽培　椎茸栽培

畜産部門　和牛肥育　放牧経営と観光

花木部門　高山植物栽培　花木園芸

山菜加工部門　わさび山芋うどの加工と販売

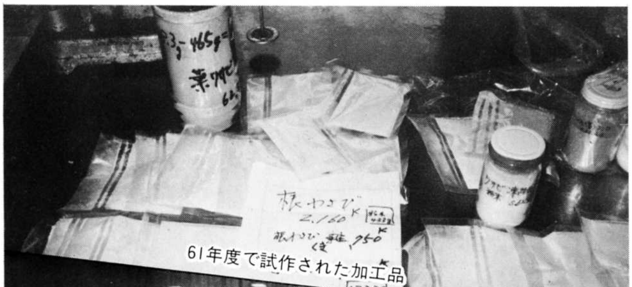
木工加工部門　キット商品の開発　土産品の開発

観光部門　イベント企画とPR方法　イメージ創りと条件整備

渓流魚部門　やまめの養殖つり堀経営

◆融資事業

産業育成ビジョンにより新しい部門の産業が立ちあがる際有利な条件で融資を行うことによって資金的な負担を軽減することにしています。



61年度で試作された加工品

61年度で試作された木工加工品

チロルの里構想を思う

江府町ヤングネットワーク
会長　浜本　伸介

現在、江府町において電源地域産業育成支援事業による「奥大山チロルの里づくり」構想が進められています。

地元産業の育成、観光産業の将来的計画を含めた大規模な事業であり、この江府町の自然を生かし町を住み良い環境にする事業だと聞いております。

しかし一方では、俣野川発電所、中国横断自動車道、現在計画中の下蚊屋ダム等自然景観を阻害する人工的構造物、山の峰にそそり立つ鉄塔等が自然の中で我々の視野には入ってきます。

この様な状況の中で自然を生かす「チロルの里」構想は今後の課題であり、景観評価を用いた計画が必要で有ると考えられます。

今までの段階では行政主導で行なわれてきましたが今後は、官民一体となって事業を実施して行く計画の様です。

我々が我々の町江府町を見直し、考え、行動するのは今だと思考しています。

「行政が勝手に進めている事業だから…」「事業の内容が良く分からない」など思われている人もあるかもしれませんが今、この様なことを言っている時では有りません。

確かに行政は町づくりのプロであり、我々にはなかなか出来ない面も有ります。しかし我々は夢と希望を持っています。行政がハードなら我々はソフトです。すぐれたコンピューターでもプログラムが無ければ動きません。

行政がコンピューターで我々町民がプログラムだと考えれば、これからの町づくりは我々にかかっていると言っても過言では有りません。

自分達が考え、行政と手を取り合い官民一体となって事業を実施して行く、これが「チロルの里」構想の基本だと考えます。

私達若者も「江府町ヤングネットワーク」を半年前に発足させました。町づくりを考え、私達も楽しく、そして何か行動しよう、と言う会です。

町民の皆様も是非この「チロルの里」構想を機とし、町づくりについて考えられることを希望しております。

＝人材養成で先進地へ派遣＝

　電源地域産業育成支援事業の人材養成事業による先進地派遣は現在まで9部門に長期6名、短期11名をおくり出してきました。
　この人材養成は来春3月まで実施しますが、引続き意欲ある皆さんの参加をお待ちしています。
　今回は和牛の肥育について9月9日から10月10日までの一ケ月間三重県の畜産農家に住み込んで研修された中田泰さん（御机）のレポートを紹介します。

体験レポート

先進地における現地農業研修を終えて

中田　泰

　江府町では、昭和六十一年度に電源地域産業育成支援事業で町の産業振興のビジョンを策定されました。
　産業育成ビジョンでは町の基幹産業である農林業・観光の育成と振興を図ることを目的として、各産業がそれぞれ地域ごとにリーダー、技術者を養成されることになり、既に先進地の研修にたくさんの人がでかけています。
　私の研修先は、三重県阿山郡阿山町岩田隆嘉さん宅です。
　この阿山町は伊賀盆地の北部に位置し、北は滋賀県、西は京都・奈良の県境で山に囲まれた農村です。この地域は基幹産業として古くから和牛が農家に親しまれており、また江府町も和牛の振興については重要施策の一つとして年々助成を重ねられています。
　今回、私の農業研修はこの和牛の繁殖のみの経営方式より肥育を取り入れた一貫方式を研修するものでした。
　研修農家の岩田隆嘉さんは全国農村青年教育振興会の主幹による先進地農家留学生の受入農家として登録された肉用部門の農家です。経営規模は水稲一八〇アール、草地七〇アール、和牛（肥育）八〇頭です。
　特に和牛は、若牝牛の高級肉生産で、一産取り肥育を一部導入し、自給飼料生産を積極的に行っている合理的な畜産経営農家で、家族は、ご主人、奥さん、おばあさん、長男（学生）の四人です。
　朝五時三十分に起床し、八時三十分ごろまでと、午後四時から六時まで給飼作業、その間の作業は、朝夕の飼料調整、牛の糞尿の処理、牛舎敷草入れ、薬剤撒布などの牛八十頭の管理作業が毎日の仕事です。家族と一緒になって肥育作業を行いながら研修を受けました。
　仕事の合い間には食肉センター、肥育牛品評会出品、枝肉品評会なども見学もさせていただきました。
　岩田さんも畜産経営の合理化を図るため、素牛から一産の仔取り後、肥育し、生産された牝仔牛も同様な方式によって一貫体系を計画し実施されていますが、古くから肥育体系のみの技術で今日まで受け継がれた慣習が繁殖技術に対応できないため、事故牛の発生（濃厚飼料給飼）が多く完全に定着できていないとのこと。
　研修を終えて、江府町では繁殖技術を高度に活用し、肥育技術の導入によって繁殖用供しない牛に付価価値を高めて地元で生産された肉を地元の人々に販売、または市場に出荷できるような方法をとることによって、観光地などでの本物志向（焼肉など）に対応して、地元因伯牛の名声を保っていくことが畜産江府町の振興になると思いました。
　一方米の生産調整による水田の減反面積を充分に活用し、生産コストの低減を図らなければなりません。そのためにも土地基盤整備を早急に他の町村のように促進し、農業機械の効率化と農業施設等を軸に青年を中心とした受託グループの組織育成を強化して行かなければなりません。
　今回の研修に参加をさせていただいてみて他の地域の農業に取り組む意欲に感銘しました。

▲肥育牛品評会

昭和62年度上半期 財政状況報告

昭和62年4月1日から昭和62年9月30日までにみなさんが納められた税金や国からいただいた地方交付税などがどのくらい入り使われたかを図表に表わしました。

財産表

区　分	種 目	数　量
行政財産	土　地	94,174㎡
〃	建　物	11,891㎡
公共財産	土　地	1,183,566㎡
〃	建　物	19,112㎡
普通財産	土　地	3,911,514㎡
〃	その他	5,362千円

積立基金

（単位千円）

基 金 名	現在高
財 調 基 金	166,202
公有林野基金	147,203
土地開発基金	10,000
運動公園運営基金	50,000
集落経営基金	471,748
肉用牛導入事業基金	7,790
合　計	852,943

町税の調定と収入

（単位千円）

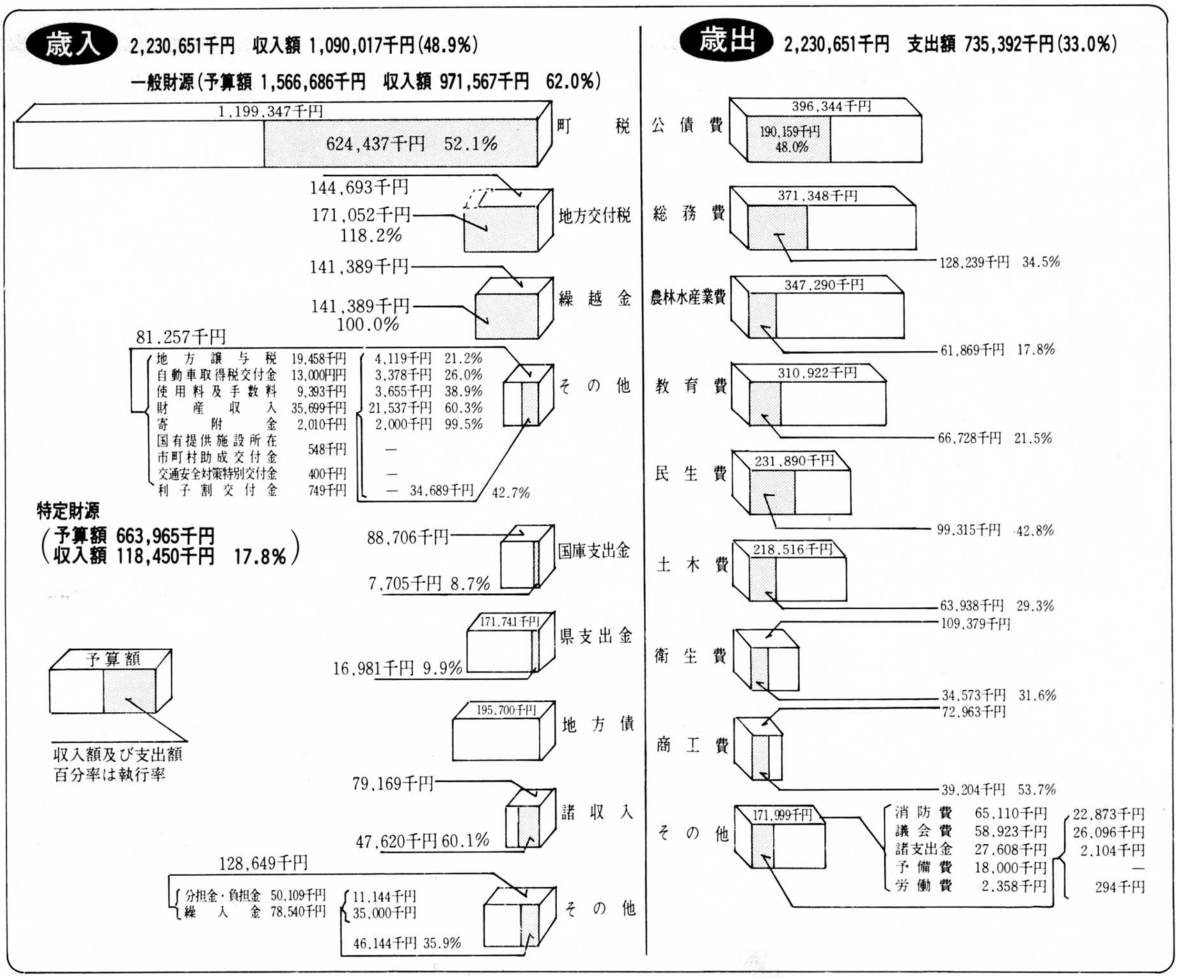
税 目	調定額	収入額	徴収率
町 民 税	90,464	47,049	52.0
固定資産税	1,094,033	555,949	50.8
軽自動車税	6,484	6,390	98.6
たばこ消費税	9,133	9,133	100.0
電 気 税	5,459	5,459	100.0
木材取引税	—	—	—
特別保有税	360	360	100.0
合　計	1,205,933	624,340	51.8

公債費及び一時借入金現在高（普通会計）

（単位千円）

区　分	金 額	区　分	金　額
一 般 公 共	6,900	過 疎 対 策	1,227,867
一 般 単 独	55,135	地 域 改 善	184,687
公営住宅建設	70,740	臨時財政特例	5,600
義 務 教 育	61,384	調　整	10,000
辺 地 対 策	14,320	財 源 対 策	52,909
公 共 用 地	—	県 貸 付 金	35,930
災 害 復 旧	22,595	そ の 他	450,177
一 般 廃 棄	22,032		
厚 生 福 祉	266,588		
転 貸 債	34,025	合　計	2,520,889
		一時借入金	—

一般会計財政状況



台風19号

被害総額１億7,300万円

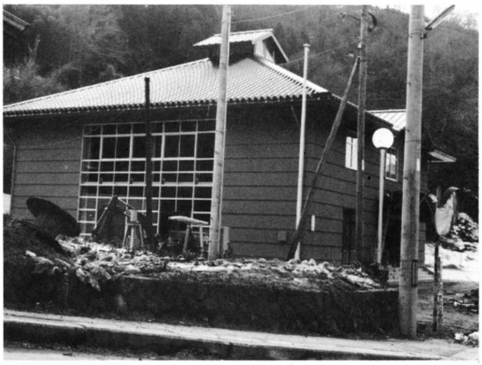
10月16日から17日にかけて、四国・近畿を縦断した台風19号は、鳥取県内にも300ミリから400ミリの大雨を降らせ、特に県中部ではがけ崩れ、家屋崩壊などで死者も出るほどの大災害となりました。

江府町でも、公共土木関係では江尾久連大谷線、江尾杉谷美用線、江尾貝田三の沢線などの道路崩壊、小江尾川、美用谷川、久邦谷川などの護岸決壊、農林土木関係では、栗尾農道、五明井手頭首工、農地畦畔崩壊などあわせて87件で、被害総額約１億7,300万円と今までにない大きな被害を受けました。

被害をうけた公共土木施設災害、農地・農業施設災害など30万円をこえるものについて国の査定を受け、公共土木施設災害13件、農地・農業用施設災害12件、総額63,103,000円が認定され、町ではこれらの復旧費を予算に計上し早期復旧を図ることにしています。

▶町道江尾久連大谷線法面崩壊

▶江尾地内の畦畔崩壊



＝下蚊屋分校新築＝

下蚊屋分校は、校舎の老朽化がめだち今年新校舎に改築されることになり、八月から工事が進められています。

新しくできる校舎は、鉄骨二階建てで一階には音楽室、図書室、職員室、体育館、二階には普通教室が二教室と教材室があり、総面積四一〇平方㍍の近代的な建物です。

完成は十二月中、工事費は、七、一〇〇万円です。

開校は三学期からですが、子供たちは新校舎の完成を毎日まちわびています。

●こんな工事が進んでいます●

＝町道助沢線道路消雪道路に＝

助沢地区の集落をはしる町道助沢線は急傾斜で幅員も狭く車の通行が不便です。

特に十二月から三月までの冬期間は道路が凍結して危険ですが、この道路の一部を消雪道路とするため、工事が行われています。

延長二二三・五メートル、工事費は一、三八〇万円、完成は十二月中です。

わだい

町文化祭
ルーブルの名画を鑑賞

世界の名画が一同に展示されているフランスのルーブル美術館。このルーブルの名画が十一月一日から五日間、町文化祭で展示されました。

高度な技術を駆使して実物と全く同じ大きさ、形に複製されたもので、今回展示された絵画は、印象派画家のクロード・モネ、エドゥアール・マネの作品「印象・日の出」「笛を吹く少年」など十点です。

文化祭には、複製画とはいえなかなか触れることのない名画を鑑賞できるとあって約三百人が会場を訪れました。町では、引き続き第二回、第三回の展示会も予定しています。

まだまだ元気
高齢者スポーツ大会

▲和気あいあいとジャンケンで（関所やぶり）

十一月五日、健康の増進を図るとともに、お互いの交流を深めてもらおうと、町民体育館で、第九回の町高齢者スポーツ大会が開かれました。

高齢者といっても、家庭では一人前の仕事を受けもっているまだまだ元気な人達ばかりです。

この日は、町内から四二〇人参加して、ラケットレース、玉入れ競争、鯛釣り競争、関所やぶりなどにぎやかにプレーがくりひろげられました。

晴れの受章

○真田良一さん
勲五等瑞宝章

昭和62年秋の叙勲で、消防関係功労者として、小江尾の真田良一さん（70歳）が勲五等瑞宝章を受けられました。

真田さんは、昭和９年に江尾村の消防組消防手に拝命されて以来、消防業務に従事、その間には、副団長、団長も歴任され、56年に退職されるまで47年の永きにわたって消防使命達成に尽力された功績が認められたものです。

○影山一亮さん
　加藤信夫さん
県知事表彰受章

第26回鳥取県農林水産祭で農林水産業功労者として影山一亮さん（洲河崎）と優秀生産農林水産業者として加藤信夫さん(杉谷)が県知事表彰を受けられました。

影山さん

影山さんは、昭和31年に農協理事として就任以来、常務理事、専務理事、組合長を歴任。この間には、特産品振興として夏大根の産地育成に大きく貢献されました。また、県中央会監事、県共済農協連合会理事、県共済農協連合会理事の要職にもつかれ、現在も江府町農協理事として引き続き農業振興に貢献されています。

加藤さん

加藤さんは、山林を計画的に拡大造林され、林業経営改善に努められ、人工林率も91％と高く、下刈除伐、枝打ち等を徹底、優良林分の育成に努められました。また、昭和52年以来、森林組合理事、農協理事等を勤められ、地域の発展に尽力されています。

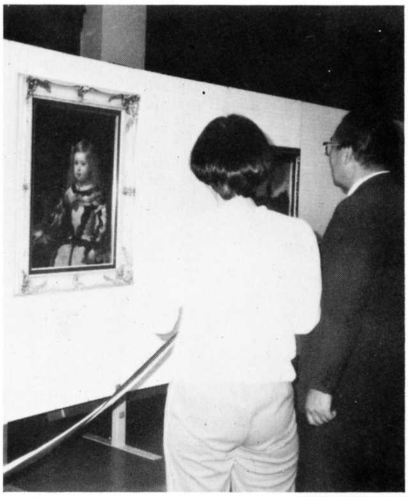
吹雪の中で 消防団連合演習

▲真剣にバケツリレーをする新町二丁目のみなさん

秋の火災予防運動期間中の十二月一日江尾の町内で、本町消防団、江府消防署、江尾自治会の合同による消火連合演習が行われました。

この演習は、密集地での火災を想定し、広域消防と町消防団の連携・地域住民の初期消火・防火意識の高揚を目的として、江府消防署、溝口、生山各出張所から四台、本町消防団から二台の消防車が結集した大規模な訓練です。

この日は初雪も降り、寒い一日となりましたが、火元となった新町二丁目をはじめ、江尾自衛消防隊、江尾水道組から約三十名が参加し、バケツリレー、消火栓消火の訓練を行い、日ごろの備え、初期消火の大切さを改めて再確認しました。


▲文化祭で５日間にわたって展示

とっとり630
ＮＨＫ・江府ふれあい広場
イベントに3000人が参加

ＮＨＫとっとりよなご・江府ふれあい広場が11月29日、江府町山村開発センターで開かれました。

このふれあい広場は、ＮＨＫの公開事業の一環としてＮＨＫと江府町が共催で開いたもので「にこぷんショー」、「こどもアナウンス教室」、「こども630」、「衛星放送の受信公開」、「ビデオ講座」などのイベントが行われました。

なかでも〝おかあさんと一緒〟でおなじみのぴっころ、じゃじゃまる、ぽろりの登場するにこぷんショーの人気は最高で、子供たちは、ぬいぐるみにさわったり、握手をしたり大よろこびでした。

子供から大人までが楽しめるイベントにこの日は町内外から約３千人が参加しました。

厳かに慰霊祭 遺族ら二三〇名が参列

恒例の町慰霊祭が、十一月十日、午前十時から土井之内会館で、町内寺院をはじめ関係六か寺の奉仕を得て、仏式により行われました。

式には、遺族・来賓ら二三〇名が参列し、尊い犠牲者のめい福を祈りました。

また、式終了後は、約二時間にわたって歌や無踊、演芸などで、遺族の慰安を行いました。

▲犠牲者のめい福を祈り焼香

国民年金

国民年金を請求していない人は早めに請求しましょう

国民年金では、三つの基礎年金が給付の柱となっています。

一つは、老後の生活の支えとなる老齢基礎年金、これは、六十五歳から支給されますが繰上げ、繰下げて受けることもできます。

二つめは、国民年金加入中に病気やケガで障害者になり二十歳になって支給される障害基礎年金。

最後は、国民年金加入中に死亡したとき、遺族の方に支給される遺族基礎年金です。

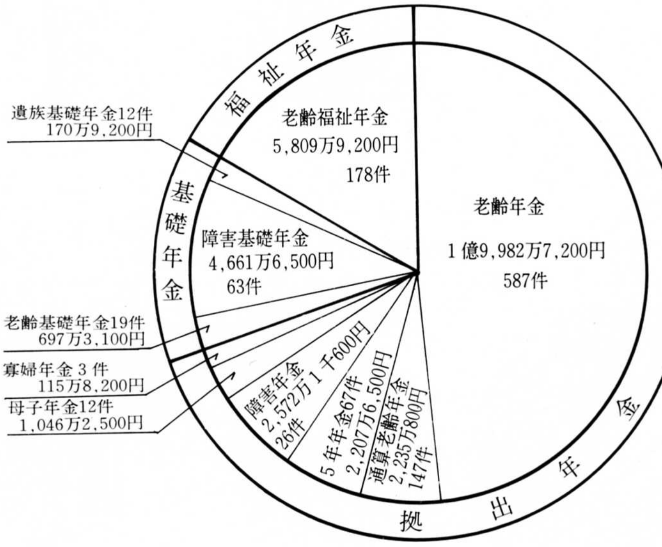
支給される状態になっても本人が役場に請求しないと支給されません。

もし、請求しないで五年が経過すると、受給できる権利そのものが時効消滅となり、年金を受けることができなくなります。年金の受給について詳しいことは、役場国民年金係にお尋ね下さい

◇年金受給額が三億九千五百万円

昭和六十一年度中に本町の受給者に支払われた国民年金の額は、拠出年金二億八千百六十万円、基礎年金五千五百三十万円、老齢福祉年金五千八百十万円の総額三億九千五百万円でした。

下表は、右の年金を内訳別にしたものですが拠出年金の受給者八百四十二人、基礎年金受給者九十四人、また、老齢福祉年金の受給者は百七十八人と受給者総数は千百十四人に登り現在国民年金被保険者数千百八九九人に対して、年々増加の傾向にあります。



交通事故のご相談

無料で応じます

午前九時半から午後四時四十分まで

土曜日は正午まで（第二・第三土曜日は休みます）

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

◎弁護士相談員…毎週水曜日午後一時から四時

◎電話のご相談もお受けします。

☎〇八五七—三四—四二三三

直通は〇八五七—二三—五一六一

社団法人日本損害保険協会鳥取自動車保険請求相談センター
鳥取市今町一—一〇三
住友生命鳥取ビル3階
鳥取調査事務所内

ご協力ありがとうございました

愛の献血に五十五名

十一月十七日の日本赤十字社の献血に、次のみなさんからご協力をいただきました。

ありがとうございました。

☆印は献血功労章受章者の方です。

—敬称略—

○中国電力㈱俣野川発電所建設所前

前田良一、鈴木周一、酒井洋、下坂美鈴、日野美弘

○レストランワンエイト前

生田人美、下垣邦弘、川上和人、加藤幸人、上口一郎、末次清士、平川陽之、大森ひろ子、藤井勝美、大名和安一

人の動き

10月届け

□お誕生おめでとう

池の内　加藤　望　要　三男

□ご結婚を祝します

宇田川克美）小江尾
森　祐三子）広島県双三郡から
廣谷　充俊）米子市
加藤みどり）江尾から
奥田　功司）柿原
権代　佳子）溝口町から
小田　明彦）俣野
久保河千秋）米子市から
谷口　則行）久連
家中　文子）島根県隠岐郡から
藤本　博美）江尾
名越　美香）日南町から

■ごめい福を祈ります

貝田　藤原亀松89歳富秋宅
大河原　井上森雄76歳純子宅
新道　木山義雄80歳てる子宅
吉原新見冨貴枝75歳俊明宅
御机　岡　和仁26歳廣幸宅

ありがとうございました

十月中寄託分

■香典返しとして

貝田　藤原　富秋殿（父亀松様ご逝去）
新道　木山てる子殿（夫義夫様ご逝去）

□内祝として

武庫　日野尾左保殿（ご本人様退院）
日ノ詰　加藤　修殿（ご本人様退院）
御机　山崎　操殿（ご本人様退院）
御机　山崎なみ江様（ご本人様退院）
貝田　岡田萬亀江殿（ご本人様退院）
下蚊屋　大岩　良一殿（ご本人様退院）
本四　徳岡　里佳殿（ご本人様退院）
杉谷　末次　雪江殿（ご本人様退院）
美用　川上　卓雄殿（ご本人様退院）
柿原　奥田富美子殿（ご本人様退院）

社会福祉事業にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

江府町社会福祉協議会 善意銀行受払報告

1、九月末累計額　三、八五七、六一五円
2、十月中寄附額　一九〇、〇〇〇円
内訳　香典返し　二五、〇〇〇円
退院内祝　一六五、〇〇〇円
3、支出額　なし
4、十月末累計額　四、〇四七、六一五円

人口と世帯
(10月31日届)

総人口	4,805人
男	2,314人
女	2,491人
世帯数	1,231世帯

大野木昭夫、西帯野勉、福本茂、山野拓史、佐藤淳一、圓井正浩、清水賢

○江尾貨物自動車㈲前
白石和男、梅林史朗、中田健治、徳岡健、川上健二、亀田武志

○江府町農協本所前
中村真佐雄、藤原信雄、林二郎、砂口正文、川上千鶴、

加藤美和、大岩徹、西村弘樹新見智香子、梶原久美子、河上収

○江府町役場
☆南波千明、☆塚原守、後栄子、原田瑞夫、井上あけみ森田哲也、松原俊二、小林健治、☆福羅恵美子、千藤正、岡田雄成、中川久美子、山内邦男、清水孝司、河上英明、宮本正啓

♡国保健康クイズ

① 食パン1枚に含まれる食塩の量は？

①0g　②0.1g　③0.8g

「ハハキトク」って何？

①外食に頼ること
②子どもの好きな食べ物
③子どもが自分で料理を作ること

㈱東京法規出版発行〝健康なるほどクイズ〟より

人の動き

11月届け

□お誕生おめでとう

佐　川　己越　昇　哲也長男
佐　川　松原　良平　孝史長男
小江尾　土居　洋三　一幸二男
本　一　清水健二郎　正史長男
洲河崎　影山　拓郎　久志二男
新　道　大塚奈々恵　哲也長女
荒　田　林　隆一　二郎長男
本　一　松崎　博美　孝志長女

□ご結婚を祝します

柴田　勝　日南町
宮本　祐子）下安井から
杉原　達也）久連
髙橋　洋子）千葉県市原市から
竹中　克己）大阪府八尾市
加藤　祥子）俣野から
加藤　和哉）佐川
尾木こずゑ）島根県安来市から
景山登志喜）境港市
坂本まり子）佐川から
梅田　仁）下蚊屋
加藤みはる）柿原から
中村　哲夫）日南町から
景山由紀美）宮市
天野　昇一）吉原
松岡真由美）岡山県真庭郡から
浜田　孝明）小江尾
東芝ちゑの）和歌山県海草郡から
玉　彰一郎）奈良県吉野郡
山形　祐子）江尾から
高橋　和志）日南町
田中　三佳）江尾から
長尾　勝）日野町
小椋さゆみ）御机から
宇田川雅士）武庫
原　よし子）島根県出雲市から

■ごめい福を祈ります

新一　渡邊しまこ81歳和夫宅

十一月中寄託分

■香典返しとして

吉　原　新見　俊明殿
（母冨貴枝様ご逝去）
御　机　岡　広幸殿
（長男和仁様ご逝去）

□内祝として

本　一　八加部ふさ子殿
（ご本人様退院）
新　道　仲田　政子殿
（ご本人様退院）
本　一　藤田　善清殿
（ご本人様退院）
洲河崎　三好　恭祐殿
（ご本人様退院）
新　道　生田　正治殿
（ご本人様退院）
小江尾　長尾　克人殿
（ご本人様退院）
本　一　小林　厚子殿
（ご本人様退院）
小江尾　真田　良一殿
（ご本人様退院）
佐　川　下村　圭二殿
（ご本人様退院）
下蚊屋　梅田　由恵殿
（ご本人様退院）
貝　田　森田　汎江殿
（ご本人様退院）
久　連　小川　米殿
（ご本人様退院）
洲河崎　佐々木泰三殿
（ご本人様退院）
下蚊屋　各務　亀市殿
（ご本人様退院）
美用　下垣きんゐ殿
（ご本人様退院）

□特別寄附

江府町農協青年部殿
（バザー収益金）

社会福祉事業にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

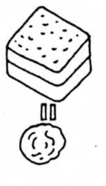
以上

江府町社会福祉協議会　善意銀行受払報告

1、十月末累計　四、〇四七、六一五円
2、十一月中寄附額　二四七、六六〇円
内　訳
香典返し　三五、〇〇〇円
退院内祝二〇五、〇〇〇円
収益金　七、六六〇円
3、預金利息　二、一二四円
4、支出額
なし
5、十一月末累計額　四、二九七、四九九円

国保健康クイズ　答えと解説

①
③



★1斤6枚切りの食パンを1枚食べると0.8g、2枚食べると1.6gの食塩量になります。1.6gといえば、ほとんど梅干し1個に相当する食塩量です。これは小麦粉に水を加えてこねるとき、食塩を加えると小麦粉のたんぱく質がよりきめ細かくなり弾力性のあるパンができるためです。
★このように、塩辛いと感じないで、ついうっかり食塩をとってしまう食品があります。かまぼこ、ちくわ、チーズ、ドレッシング、マヨネーズなどです。とりすぎを防ぎましょう。

②
②

★ハムサンド・ハンバーグ・ギョーザ・トースト・クリームスープの頭文字を合わせたものです。同じようなものとして「オカアサンハ、ヤスメ」があります。オムレツ・カ(ア)レーライス・サンドイッチ・ハンバーグ・ヤキソバ・スパゲッティ・メダマヤキの頭文字をとったものです。いずれも子どもの好物をあらわしたものですが、〝軽食〟への依存や手作り料理をあまり作らなくなった、現代の母親への皮肉も含まれています。

除夜の鐘